



[Ishikari]

2016  
Vol. 330

# JAいしかり 6

発行 / 石狩市農業協同組合



## 主な記事

- ニュースファイル ..... 1
- インフォメーション ..... 6

ようやく日差しも心地良いころとなり、組合員の皆様方、田植えも順調・カラダも良好となり秋の豊穡を願うシーズンとなりました。頑張りましょう！！

## グリーンアスパラの共撰始まる

5月9日、集出荷施設（JAいしかりベジタブルファクトリー）でグリーンアスパラの撰果が始まりました。当初は平年よりも早い共撰開始を予想していましたが、4月の天候が悪く、また霜による影響もあり昨年より3日遅い始まりとなりました。

開所式では、グリーンアスパラ部会の小林部会長より「今年は雪解けが早く進みましたが、4月の気温が上がらなかつたため、昨年よりも少し遅い共撰開始となりました。今後の天候が良くなれば収穫量も増えますので、撰果の方も宜しくお願いします。」と挨拶があり、今後の出荷の見通しなどについて説明がありました。続いてJAいしかり中村代表理事組合長より「天候不順の影響で、まだアスパラの収穫量も少ないようですが、アスパラ共撰開始から集出荷施設の稼働がスタートを切ることにあります。石狩産のアスパラを消費者の方々お待ちいたしますので、撰果パートの皆様におかれましては、厳選した撰果を宜しく願いますとともに、共撰期間中に事故の無いよう十分注意して下さい」と挨拶されました。

札幌中央卸売市場では、全道的な天候不順の影響も有り入荷量もかなり少ない状況であり、翌日の初セリでは平年になく高値での取引となりました。また、石狩産のグリーンアスパラは品質が良いと高い評価を頂きました。

グリーンアスパラの共撰は、6月中旬までの約1ヶ月間行う予定となっていますので、今後は好天に恵まれて昨年以上に出荷が増える事が期待されます。



石狩産グリーンアスパラ初セリ



パートさんによる厳選な撰果作業



いしかり漬けの製造スタッフ一同

## いしかり漬け製造順調！

今年度より当組合でいしかり漬け・にしん漬けの製造を行い「JAいしかり地物市場とれのさと」をメインに販売を行っています。昨年度まで中田水産に製造を委託していましたが大量生産が難しくなったことから、技術継承並びに指導監督を頂き今までと変わらない品質と味を再現しています。

STVさんこワイドの放送で取り上げられた効果もあり、販売数量では昨年度と比較して2倍以上の売上で推移しており、只今製造真っ最中となって、現在500gパック詰め商品を製造・販売しています。

また、秋頃には例年同様いしかり漬けの10L樽予約受付を広報誌等でお知らせさせて頂きますので、皆様の変わらぬご愛顧の程宜しくお願いします。

## 水稻育苗講習会

5月11日に毎年恒例の水稲育苗講習会が5地区に分け生産者35名が参加されました。今年は昨年に引き続き雪解けも早く播種後の天候にも恵まれ順調に生育しております。

当日はあいにくの雨模様でしたが、高岡地区を皮切りに各地区ともに参加率が高く、熱心に石狩農業改良普及センター石狩北部支所の山口係長、佐々木普及員の話聞いていました。

参加された会員の皆様、本当にお疲れ様でした。



育苗管理について、佐々木普及員の説明



育苗の生育状態を確認する参加生産者

## 役員コンプライアンス研修会

4月19日、中央会札幌支所 松原次長を講師に招き、農協役員を対象とした研修会が2階会議室で実施されました。

今年度の役員改選に伴い新たに就任された方もあり、役員の義務と責任・役員の行動基準・コンプライアンス（法令遵守）の重要性など役員の役割を研修し役員としての重要性を再認識されました。

また、今年度より、農協法の一部改正の概要とそれに伴い今後の農協に対する影響について研修が行われました。



中央会札幌支所松原次長を招き役員研修を実施



この研修の重要性を更に認識する役員

## 職員コンプライアンス研修会

5月24日、全職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を開催した。不祥事未然防止に努め活力ある職場環境を構築しようと53名が参加しました。

研修テーマは、最近の不祥事発生状況と未然防止対策についてDVDを交えて学び、JA北海道中央会札幌支所の廣部監査士に講師を務めていただきました。

初めに、中村代表理事組合長より訓示を頂き「職員相互の信頼関係を重視し風通しの良い職場環境を作り、組合員から信頼されるJA職員になってほしい」「基本に戻り挨拶をしっかりとしよう」と呼びかけた。

参加した職員は「わかりやすい研修会でコンプライアンスの重大さを再確認することができました」と感想を述べた。

今後も継続的に研修会等を計画し、不祥事未然防止に努めて参ります。



北海道中央会札幌支所より廣部監査士が講師を務めていただきました



参加職員がこの研修会の重大さを十分に感じました

## ビジネスマナー研修会

4月27日、全従業員を対象とした「ビジネスマナー研修会」を開催しました。

ビジネスマナーは社会人として重要であり再確認しようと51名が参加いたしました。

講師には、JAカレッジより専門講師を招き、参加者全員で笑顔で声だし挨拶からスタートし、接遇、電話応対、来客対応について学びました。

電話応対の模擬演習では5組が実演し、とれのさとスタッフが高評価をいただきました。

今後もより良い職場づくりをめざして参ります。



専門講師をJAカレッジより招き



参加者全員、挨拶対応を十分に実演から学びました

# 共済推進決起大会開催

4月18日、第16回実績報告会及び共済推進決起大会が行われました。

平成27年度の推進活動はL A、担当職員ともに非常に推進が難航し、なかなか実績が伸びず苦しい中での活動でしたが、年度末の最終日に共済連年度目標を達成したとの報告に共済課一同が達成感に歡喜した1日となりました。

実績報告会においても各L Aの年間を通した日々の活動内容の発表を行い、推進の難しさが伝わる内容で共感が出る報告がされました。

実績報告会の中では平成27年度の共済実績優績発表も行われ、中村代表理事組合長より表彰され、受賞したL Aは一同に笑顔が溢れておりました。

第1位 磯川 和彦L A

第2位 佐藤 亜紀L A

第3位 塩谷 優己子L A

今回も共済連の年間を通したキャンペーンにおいてJ Aいしかり共済課に全道優績者が2名誕生しており今後、全道表彰となります。

「がん共済の部」 全道1位 塩谷 優己子

「自動車共済の部」 全道1位 岸野 妃香里

今回の平成27年度共済連年度目標達成にてJ Aいしかりは16年連続の達成となりました。連続達成が途切れなかった事で決起大会では一同に喜びと安堵の表情で溢れておりました。

この達成に組合員の皆様方のJ A共済に対するご理解、ご協力をいただき成せた偉業と大変感謝しております。また、他部門の職員の皆様にも数々の情報をいただき共済推進に繋げることが出来ました。

今後とも組合員の皆様にも自信を持ってJ A共済を推進していき

ますので宜しくお願い致します。



優績者表彰 左より塩谷L A、磯川L A、佐藤L A



中村代表理事組合長の開会挨拶



共済連活動や方策を発表の平田L A

JAいしかり  
信用事業優績で表彰される

JA北海道信連の「北海道信用事業優績JA表彰選定基準」に基づき、当JAが重点推進項目JAバンクローン部門におきまして全道で第2位となる優秀な成果を収めました。金融部門では住宅ローンを中心に、積極的な金融推進を行い系統信用事業において優秀な成績をもって表彰されることが出来ました。



北海道信連小野寺札幌支所長より中村組合長へ表彰状の授与



新車販売  
コンテストにて入賞

農協自動車担当者の意識高揚と自動車販売スキル向上を目的とした、平成27年度下期新車販売コンテスト（ホクレン農業協同組合連合会主催）表彰式が5月11日に行われ、当組合が全道64農協中で、新車販売9位入賞を致しました。

今回の受賞は組合員皆様がJAの自動車販売に対する深いご理解とご協力のお陰であり心より感謝申し上げます。

今後も新車・中古を問わずにお車の購入予定がありましたら、是非とも燃料自動車課にお声かけいただきますようお願いいたします。



全道JA9位入賞を受け喜びの細川燃料自動車課長

**第1回 JAカレッジ**  
学生募集

- 60名 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満(平成28年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:9月10日・11日 ●願書受付:6月7日~8月15日 ●学校見学もできます

JAグループ職員育成校 **JAカレッジ** 一般財団法人 北海道農業協同組合学校  
〒069-0834 江別市文京台東町43-1 ☎0120-918-417 JAカレッジ(後援)

お問い合わせ 資料請求

男女共学 JA、JA関連団体へ就職

農業改良普及センター

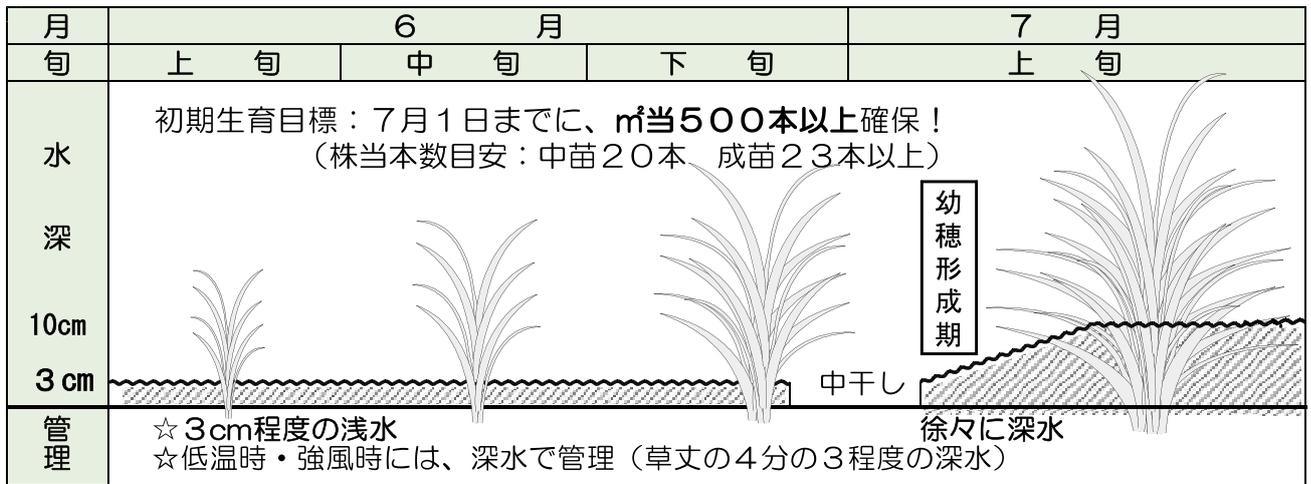
# 今月の技術情報

農業改良普及センター  
平成28年6月1日  
石狩農業改良普及センター石狩北部支所  
TEL (0133) 23-2146 FAX23-2887

## 水 稲 移植後の適正な水管理で初期生育の向上を図りましょう

### 1 幼穂形成期前までの水管理（目的：分けつの促進）

- ①早朝、夜間の入水時以外は必ず止め水とし水温を確保します。
- ②風が弱く、天気の良い日は努めて浅水にします。（水深3cm程度）
- ③低温や強風が続くと予想される場合は、草丈の4分の3程度の深水とします。
- ④土壌還元が激しく、莖数が確保されている場合は幼穂形成期前に中干しを行います。（表1参照）



### 2 ワキの発生が見られたら

表1 ワキの程度と対応

ワキに注意するほ場

- ・生ワラを鋤込んだほ場
- ・耕起時に乾燥が悪いほ場
- ・透水性の悪いほ場

程度	水田に足を入れたときの状況	生育への影響	対策
稀	気泡の発生が無い	無し	必要なし
少	わずかに気泡の発生がある	無し	必要なし
中	気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換・暗渠開放
多	盛んに気泡を発生する	根張り不良	晴天浅水・中耕除草
甚	足を入れなくても気泡が発生	根の伸長阻害	幼穂形成期前の中干し

### 3 いもち病予防のため取り置き苗の処理を早急に!!

「置き苗」をそのまま放置しておくと、いもち病の発生源になります。もう一度ほ場を巡回し、放置してある置き苗は直ちに処理しましょう。

### 4 主要害虫に対するモニタリング法

対象害虫	イネドロオイムシ	イネミズゾウムシ	フタオビコヤガ
調査時期	6月下旬～ (卵塊最盛期)	6月下旬～ (成虫最盛期)	6月下旬～ (1回目幼虫最盛期)
調査方法	卵塊数を数える	被害株の%を出す	被害株、被害葉の%を出す
要防除準	畦から2～3m入った10株の卵塊数が10卵塊以下なら <b>防除不要</b>	畦畔から10株の成虫被害株%が100%未満なら <b>防除不要</b>	任意10株の被害株%が100%未満、被害葉%が44%未満なら <b>防除不要</b>



**内田 和幸氏** (うちだかずゆき)

北海道農業協同組合中央会  
副会長

〈第28回J A北海道大会 パネルディスカッション〉  
『550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現に向けた農業の魅力発信。』  
その内容につきまして第5回目のご紹介を致します。

最終回は、J Aグループを代表してJ A北海道中央会内田副会長からの提言を紹介します。

**「力強い農業」、「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割**

北海道の農業は今まで非常に過酷な条件の中で、先人たちが長年にわたって築いてきた。食料基地としての大きな役割を担っている。自信と誇りを持って、これからの大きな変化の時代に立ち向かっていかないとけない。

農業者一人一人も大きな力ではあったが、そこに協同組合があったからこそ、ここまで発展して

くることができた。これからもJ Aの力を大事にしていかなければならない。

こういう時こそ農協に結集して、団結力、組織力を発揮しないと、これからの時代は乗り切っていけない。一人よりも十人、十人よりも百人ということで意思の結集を通じていかなければならない。

大会決議には、農業所得20%増大、新規就農者の倍増、流通改革、生産コストの削減、など具体的なことがあるが、いずれも一人ではできない。

北海道農業は、それぞれの地域の中心にあつて、欠かせない産業。地域を味方につける、より農業の理解者を味方につける。北海道の農産物は安心安全、そしておいしいと言われ、さらに地域貢献をしながらJ Aの、協同の素晴らしさを外に発

信していく必要がある。

そういった積み重ねが道民550万人の支持につながっていく。そして、理解者につながり、応援団になっていくと思っ

ている。  
J A組織は、今まで色々と組合員の所得確保のために改革を行いながら進んできた。しかし、それ以上に時代の流れは速く、その時代にどうやって適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが今後求められる。そのことによってさらに農家組合員の所得、また経営が安定するような近道になれ

ばと思っており、あえて言わせて頂いた。



**最後に一言**

私たちは、道民・国民に安心安全な食料を供給しているという、大きな役割を担っている。

そのことには自信と誇りをもっている。北海道のなかで農業をこれ以上衰退させないようにしっかりと取り組みをしていかなければならない。

もつと外に向かつて、農業の良さ、食、そしてまた農業に取り組む姿勢を発信していかなければならない。

そのことが、道民550万人と共に創る力強い北海道農業、豊かで魅力ある農村の実現に必ず結び付く。3年間一緒に頑張りましょう。

今年のJAいしかりの夏の「トーン貯」はこれ！

# 生活応援 夏得 定期貯金キャンペーン

キャンペーン期間 ▶ 平成28年 6月 1日(水) ~ 7月 29日(金)

1年定期  
年利0.1%



3年定期  
年利0.1%

さらに  
3年定期のお客様を対象に  
50万円で一口につき500円の  
とれのとて使える金券プレゼント！

- 対象者 : 個人のお客様  
 対象商品 : スーパー定期貯金(期間1年または3年 自動継続)  
 取扱総額 : 3億円(※取扱期間に関わらず取扱総額に達し次第終了いたします。)  
 預入金額 : 1口20万円以上  
 預入条件 : 新規お預け入れ貯金を対象とさせていただきます。  
 中途解約 : 預入期間に応じて当組合所定の利率で計算いたします。  
 ※金利は税引き前であり、平成49年12月31日までに受け取る利息については  
 復興特別所得税が追加課税され、20.315%の税金がかかります。  
 ※満期日(自動継続時)以降の利率はその時点の店頭表示金利となります。

<ご利用に関しては、組合員加入の為の出資が必要になります。>



## JAいしかり

本店:石狩市八幡2丁目332番地11 ☎0133-66-3321  
 花咲支店:石狩市花咲1条1丁目2番地1 ☎0133-64-2205

詳しくは  
ホームページで

<http://www.ja-ishikari.or.jp/>

JAいしかり

検索

# 理事会だより

## 第4回定例理事会 ～5月20日～

### ◆ 報告事項 ◆

- ① 建設委員会報告
- ② 平成28年度農業基盤整備促進事業入札結果について
- ③ 農産物作付・出荷状況について
- ④ 強風による農産物被害調査報告について
- ⑤ 余裕金運用状況報告について
- ⑥ 組合員加入・脱退について
- ⑦ 夏期手当の支給について
- ⑧ ディスクロージャー誌について
- ⑨ クールビズの実施について
- ⑩ 職員親睦会への助成について
- ⑪ 農業委員会総会について

### ◆ 審議事項 ◆

- ① 貸付金の申込み査定について
- ② 出資金の減口について
- ③ 平成28年度 米穀の共同計算運営事業(案)について
- ④ 事業規程の一部変更について
- ⑤ 個人情報保護規程の一部変更について
- ⑥ 組合員組織討議について
- ⑦ 平成29年度 正職員の採用について

### ◆ 協議事項 ◆

- ① 役員視察研修について

## 4月のあゆみ

- 1日 とれのさとオープン  
6日 第28回通常総会  
12日 管理金融委員会  
15日 企画会議  
18日 共済決起大会

- 19日 第3回定例理事会  
第2回建設委員会  
役員コンプライアンス研修  
20日 職員親睦会総会  
23日 春の園芸市～24日  
26日 内部審査(金融共済課・融資相談課)～27日  
27日 職員ビジネスマナー研修会

## 5月のあゆみ

- 9日 石狩地区農協組合長会・総会  
石狩地区農協農政対策委員会  
アスパラ共撰開所式  
12日 内部審査(金融課)～13日  
13日 苗物市～15日  
16日 企画会議  
石狩市民スポーツ祭り実行委員会  
17日 4地区合同地区別農協組合長会議  
資産管理事業経営者協議会総会  
石狩産業まつり第1回運営委員会

- 18日 安全運転管理者講習  
19日 後志・石狩地区JA学経理事参事会総会  
20日 第4回定例理事会  
第3回建設委員会  
24日 石狩地区農協酪農畜産対策委員会  
職員コンプライアンス研修会  
25日 第1四半期監査～27日

### 訃報

南線協栄1班 高田 喜美子 享年76歳  
平成28年4月27日逝去

南線協栄6班 栗生 洋子 享年83歳  
平成28年5月6日逝去

高岡第1組合 小池 勝慶 享年86歳  
平成28年5月16日逝去

生振第6組合 竹口 マサ子 享年97歳  
平成28年5月25日逝去

謹んでお悔やみ  
申し上げます。

# 新規就農者情報

## ちきら 高・早織さん夫妻

### ○プロフィール

出身地は千葉県

就農前までは、Webデザインやシステムエンジニアの仕事をしていました。

現在は、高岡地区に就農して、今年は2年目です。

### Q 就農した理由は？

奥さんが趣味で始めた市民農園で野菜作りを一緒にしているうちに、野菜作りの楽しさに夢中になり、農業をしたいと思いました。それから就農を目指して、就農する約4年ぐらい前から農業の勉強をしていました。その時に新規就農の受入をしていた石狩市で就農する事が出来ました。

### Q 栽培品目は？

今は施設野菜のミニトマトをハウス3棟で作付しています。

### Q 就農してみて？

考えていた以上に圃場の水はけが悪くて一部では生育不良となってしまって大変でした。また、いろいろな慣れない事や分からないことが多くて大変でしたが、同じミニトマトを栽培している方や高岡の地域の方が良く気にかけて様子を見に来てくれて色々な事を教えてくれたので、1年目の目標を8割以上達成する事ができました。まわりの皆さんにいつも助けて頂いて感謝しています。品質の良いミニトマトが多く収穫出来たときはすごくうれしかったです。

### Q 今後の目標・予定は？

2年目に向けて品質の良いミニトマトを多く出荷し営農計画を達成する事です。また、栽培ハウスの棟数を現在の3棟から2～3年後には6棟に増やす予定なので、就農計画通りに出来るように、圃場の排水対策と土づくりを進めていきます。また、将来的には冬場の収入確保など色々なことにチャレンジしたいです。

